

登山学校

第1回講座「計画から下山まで」

第19期登山学校 第1回目講座『計画から下山まで』に参加して
19期受講生 志 築 英 明

[1日目 6月7日 机上学習 於:武蔵浦和コミュニティセンター]

開校式以来1カ月ぶりの顔を会わせて、まだ顔と名前を覚えてないメンバーばかりで少々緊張気味の中で小松先生の講義がはじまった。装備、歩行等の基礎的な講義などと、ルート情報、気象情報等事前入手できるホームページの紹介があった。

休憩を挟んでからは5つの班に分かれての学習。まずはプレートコンパスの使い方。コンパスを『振る』という表現が初めてだったので 振る??ってな感じで興味津々。私が今まで持ち歩いてたのは簡易的な丸い形状で単に“方位”を知る使い方しか知らなかったのだが、プレート型は目標点の方角を記憶できるので便利だと知った。翌日の実技山行では地図に載ってない分岐点に差し掛かった時にとっても役立つと感じた。GPS機能の付いたスマホは確かに便利だが、原始的なツールを使いこなせるのも楽しいなあと思った。午後は登山計画書の書き方。翌日の大小山予定コースに従って 当日の行動を頭に浮かべながら、コースの概略図と行動予定時間、メンバー構成と役割等の 必要項目を班のメンバー達と相談、教え合いながら書き込んだ。

[2日目] 6月8日 実技講習 栃木県 上毛線富田駅から 大小山ハイキングコース

出発前夜の天気予報は埼玉県全域に大雨洪水注意報が出ていて、土砂崩れにも注意とのこと。ホントに大丈夫か?との不安感と、激しく屋根を叩き突ける雨音が気になり、その晩は熟睡出来ずに出発の朝を迎えた。

集合場所の上毛線富田駅に到着してからレインウェアを着込んで、各班に別れて 小雨のなか出発 [9:20]。途中の斜面ではスリングハーネスの掛け方、ロープを伝わっての斜面降下の実技も学んだ。たかが300m程度の山と甘く見ていたが、頂上付近になると結構な岩場が沢山あって手応え充分だった。妙義山山頂でお昼休憩。今にも一雨降りだしそうだったのでさっさと食事を切り上げた後は計画書作成時に決めてあったエスケープルートを辿ることになった。しっかり準備しとけば慌てずに、また、その時その時の状況に合わせてプランを臨機応変に切り替えることができ、心理的にも余裕ができることを学んだ。登下山途中、同行していただいた運営委員の方には、様々な状況での足の置き方、バランスのとり方など細かなアドバイスをいただくことができ、これも登山学校実技講習ならではだと感じた。[13:43]予定より早く阿夫利神社に到着。集合写真、ストレッチ体操、グループでのショートミーティングが終わり解散となった。

とぼぼ同時に雨足が速まり大粒の雨が降りだした。

登山学校一回目の実技山行を無事終え、お世話になった運営委員、参加者の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。来月からの続きの講座がとても楽しみにになりました。以上

